

技術部長のあいさつ



永井 二郎

工学は、人間社会の持続的発展を可能とするための技術に関する学問体系です。福井大学は、工学部は5学科11コース、大学院工学研究科の博士前期課程は3専攻14コース、博士後期課程は1専攻を擁し、日本海側では最大規模で、工学のほぼ全ての分野を網羅し、一部理学の分野も含みます。それに応じて、必要となる技術も、工作技術、計測技術、解析技術、制御技術、情報技術など多岐に渡ります。また、ひと口に技術と言っても、伝統的・基礎的な技術から最先端技術まで幅広い側面を持っています。工学部技術部は、このようなさまざまな技術に対応できる高度な技術者集団です。

技術部は工学部と共に歩み、長い歴史と伝統がありますが、組織形態は時代の要請に合わせて変遷してきました。その変遷の歴史は、2024年に刊行された工学部百年史に取りまとめられている通りです。特に、昨今の厳しい大学経営の影響は技術部にも波及しています。限られた人材を最大限に活かすこと目的に、これまでの組織の在り方に関するさまざまな検討がなされ、その結果は2009年に報告「組織業務の在り方と具体的活動の推進について」としてまとめられました。その報告に基づき、現在の技術部は3室6班体制をとり、また技術業務は業務遂行グループ制で行われています。業務遂行グループは、

1. 技術相談・プロジェクト グループ
2. 共同利用施設 グループ
3. 実験・実習 グループ
4. 安全衛生管理推進 グループ

の4つから成り、統括技術長・技術長・専門員を除くすべての技術部職員は、2つの業務遂行グループに所属して技術業務を行っています。

技術部の業務内容は、学生や教職員に対する技術指導や実験・実習指導だけではなく、さまざまな機器の設計・製作や開発・試作、計測技術や解析技術の開発、分析機器による測定、建築・建設材料の構造試験、薬品および高圧ガスボンベ管理・安全講習会などの安全衛生活動、コンピュータのソフトウェア・ハードウェア・システム等の開発および維持管理、さらには工学部・学科・研究室等のネットワーク・サーバ・ホームページの運用・管理まで多方

面に及んでいます。さらに、公開講座や福大未来キャンパス等での活動を通じて、社会貢献も積極的に行ってています。

工学部・工学研究科の教育研究活動は高水準を保ち、また就職率の高さと就職後の離職率の低さも大きな特色になっています。このような高い実績には技術部の多年に渡る蓄積と成果も大きく貢献しており、工学部・工学研究科の教育研究は技術部なしで成り立ち得ません。工学部の前身である福井高等工業学校（1923年(大正12年)創立）から100年が経ち、次の100年に向けて動き出しました。工学部・工学研究科のさらなる飛躍に向け、教員・事務職員と協働して、技術部も積極的に活動していきたいと考えています。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。